

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成30年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州産業学術推進機構
-----	--------------------

所管課	産業経済局 新産業振興課
-----	--------------

団体に対するミッション
①北九州学術研究都市の研究開発拠点化を推進する。 ②産学連携による技術力の強化と新事業創出を推進する。 ③企業活動の生産性向上を推進する。 ④ICT産業の振興と地域ICT関連企業等の集積を促進する。 ⑤中小企業の経営支援と創業を促進する。

行財政改革大綱における見直し内容
これまでの取組みや成果について、評価・検証の上、今後とも本市の産業振興の原動力として同団体に求める役割を整理する。さらに、この役割を達成するために取り組むべき事業や組織体制について、必要に応じ有識者等の意見も踏まえながら、精査・検討する。 また、この検討の中で、九州ヒューマンメディア創造センターとの統合についても検討していく。

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	九州ヒューマンメディア創造センターとの統合により、それぞれの強みを融合させ、企業のロボットやIoTの活用等による革新的生産性向上に向けた支援等を行うことにより、自らものづくりの変革や価値の創造に取り組むような中小企業を増やしていく。
-------------	--

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H28	H29	H30		R1	R2	R3	R4
	実績	実績	目標	実績	目標	目標	目標	目標
産学連携施設の入居率	—	70%	70%	73%	70%	70%	進捗状況をみて、令和2年度末に目標を再設定	
事業化金額	51.0億円	50.8億円	52.0億円	49.1億円	54.0億円	56.0億円		
革新的生産性向上企業数（累計）	—	1件	3件	12件	6件	9件		
新ビジネス（情報産業）創出数	—	0件	1件	4件	2件	2件		
窓口相談等の課題解決件数（知財含む）	—	404件	400件	536件	400件	400件		

ミッションの遂行状況の評価（平成30年度）

団体における評価	平成30年度は、FAIS第5期中期計画の初年度であり、メインミッションである自立できる産業づくりに向け、企業・大学との連携を密にしながら、人材育成や研究開発、事業化への支援を実施した。また、九州ヒューマンメディア創造センターとの統合初年度であり、双方の強みを融合させた取組みとして、ものづくり現場へのIoT活用促進を支援するなど、地域企業の生産性向上における新たな取組みを行った。その結果、事業化金額は目標をやや下回ったものの、その他の指標については目標を達成した。	市の評価	九州ヒューマンメディア創造センターとの統合に合わせて市が設定したミッションに基づき、新たに設定した両財団の強みを生かした地域企業の生産性向上に積極的に取り組んでいる。事業化金額は目標を下回ったものの、他の指数については目標を上回っており、評価できる。
今後の課題及び見直し内容（案）	FAIS第5期中期計画を踏まえ、自立できる産業づくりを目指し、地域企業の生産性の向上や技術力強化に向けた取組みを強化していく。また、産学連携のコーディネートによる研究開発から事業化への支援及び中小企業に対する経営支援等を継続して実施していく。	団体への改善指導内容（案）	中期目標に基づき事業を着実に実施し、各指標を達成できるように指導する。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	統合を検討する団体 特に事業内容を精査する団体
1 統合の検討について 平成30年4月1日付でFAISとHMCは統合した。	
2 特に事業内容を精査する団体 FAISとHMCの統合により、ものづくり分野などに関して企業や大学等が有するシーズ等に精通したFAISと、情報通信分野で優位性を持つHMCのそれぞれの強みを融合し、ロボットやIoTの活用等による地域企業の生産性向上に向けた支援など、統合による相乗効果を活かした事業に取り組んでいく。	